

# 東亜グループCSR活動の基本的な考え方

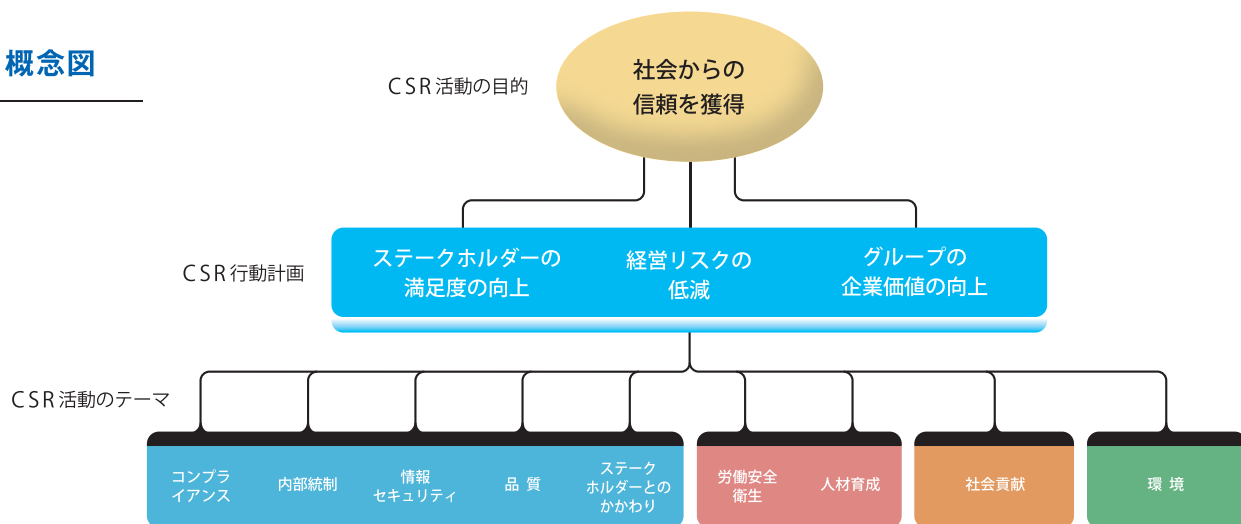
経営理念に掲げる「高い技術をもって社業の発展を図り健全な経営により社会的責任を果たす」ことが社会における当社の存在意義であるとの認識のもと健全で継続的な社業の発展をめざしてCSR活動を推進します

東亜グループは、海上土木、陸上土木、建築の分野で、日本はもとより広く海外のニーズにも応えています。そのめざすところは、CSR活動の目的としている「社会からの信頼を獲得」することです。この目的を達成するために、公正な企業活動による健全経営を追求し、高い技術により建設業者としての品質の高いサービスを提

供してまいります。

当社では、CSR中期目標を掲げ、従来から取り組んでいる9つのテーマを深化させることを優先してCSR活動に取り組んでいます。テーマごとに、期首に行動計画を策定し、期末に評価し、次年度の行動計画に活かしています。

## 概念図



## 企業行動規範

### 東亜建設工業グループ企業行動規範

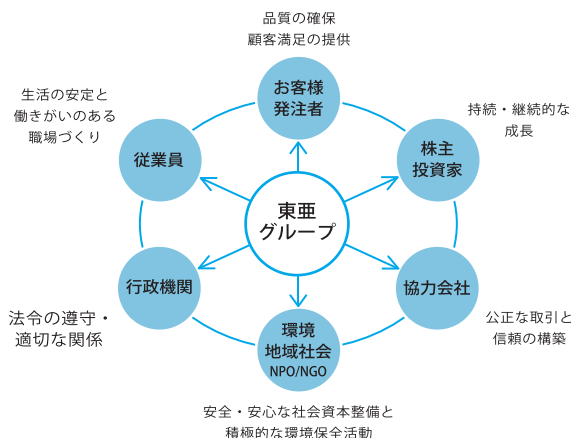
当社は、経営理念に掲げる「高い技術をもって社業の発展を図り、健全な経営により社会的責任を果たす」ことが、社会における当社の存在意義であるとの認識のもとにCSR活動を推進し、健全で継続的な社業の発展をめざすべく、ここに「東亜建設工業グループ企業行動規範」を定め、グループ全体に周知・徹底します。

(2006年6月制定)

- ① 優良な建設物とサービスの提供
- ② 法令等の遵守の徹底
- ③ 公正な競争の推進
- ④ 反社会的勢力との関係の遮断
- ⑤ 企業情報の適正な開示と信頼の確保
- ⑥ 地域社会との調和と貢献
- ⑦ 環境への取り組み
- ⑧ 働きやすい職場環境と豊かさの実現
- ⑨ 国際社会との調和と貢献
- ⑩ 率先垂範と体制整備

## 東亜グループのステークホルダー

東亜グループは、株主、お客様、従業員、協会社、関係機関、工事現場や事業所の近隣住民、できあがった構造物を利用する人々など、さまざまな人々、法人、機関と関わりをもち、支えられています。これらステークホルダーの満足度向上を図るため、グループをあげて取り組んでいます。



2012年度の主な活動実績と2013年度の主な活動目標

CSR活動のテーマ	2012年度			2013年度
	主な活動目標	主な活動実績	評価	主な活動目標
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 犯罪および重大事件“ゼロ”</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 犯罪および重大事件：0件</li> <li>テレビ会議システムによる研修：幹部職 205名参加</li> <li>e-learning 研修「独占禁止法の遵守」：受講率 90%。</li> <li>e-learning 研修「インサイダー取引規制違反」：受講率 91%</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 犯罪および重大事件“ゼロ”</li> </ul>
内部統制	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備“ゼロ”</li> <li>■ 業務遂行に伴う経営リスクの低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 左記、重要な不備：0件</li> <li>東亜グループ全事業所の内部監査実施</li> <li>■ 業務遂行に伴い経営リスクの低減活動</li> <li>リスク管理状況の改善指導</li> <li>■ e-learning 研修「三様監査」：受講率 90%</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財務報告に係る内部統制上の開示すべき重要な不備（重要な欠陥）“ゼロ”</li> <li>■ 東亜グループの内部統制の有効性維持・向上</li> </ul>
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 重大情報漏えい“ゼロ”</li> <li>■ PCの盗難・紛失の台数“ゼロ”</li> <li>■ 各システム、メール、ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間 各々30分以内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 重大情報漏えい：0件</li> <li>携帯リモート等の展開</li> <li>情報セキュリティの実施状況の確認と指導</li> <li>e-learning 研修：受講率 93%</li> <li>■ PCの盗難：1件</li> <li>■ 障害停止時間：支店ファイルサーバ1.25時間停止</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 重大情報漏えい“ゼロ”</li> <li>■ PCの盗難・紛失の台数“ゼロ”</li> <li>■ 主要システム・メール・本支店ファイルサーバの業務時間内での障害停止時間 各々30分以内</li> </ul>
品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 工事成績評定（官庁土木）：80点以上（平均）</li> <li>■ 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）B以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 工事成績評定（官庁土木）：78点（平均）</li> <li>■ 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）のC評価1件</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 工事成績評定（官庁土木）：80点以上（平均）</li> <li>国土交通省各地方整備局で表彰1件以上</li> <li>■ 顧客満足度評価（民間建築）：4段階評価（A～D）B以上</li> </ul>
ステークホルダーとのかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業情報の開示に努める</li> <li>■ 会社のPRに努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ IR 決算説明会（本決算、第2四半期）を開催</li> <li>説明会資料をホームページ上で即時開示</li> <li>■ CSR 報告書2012の発行</li> <li>ニュースリリース 技術開発：7件、海外工事受注：1件</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業情報の開示に努める</li> <li>■ 会社のPRに努める</li> </ul>
労働安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公衆災害“ゼロ”</li> <li>■ 重大災害“ゼロ”</li> <li>■ 業務上疾病“ゼロ”</li> <li>■ 災害度数率 0.50 以下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公衆災害：5件</li> <li>■ 重大災害：0件</li> <li>■ 業務上疾病：0件</li> <li>■ 災害度数率：0.66</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公衆災害“ゼロ”</li> <li>■ 重大災害“ゼロ”</li> <li>■ 業務上疾病“ゼロ”</li> <li>■ 全社災害度数率 0.50 以下</li> <li>■ 災害発件数 対前年度比 20% 削減</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新卒者採用：40～50名</li> <li>■ 研修の充実</li> <li>■ 産学連携による人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新卒者採用：40名</li> <li>■ 新教育方針に基づく各種研修の実施</li> <li>「管理職研修」講師・内容の見直し</li> <li>「営業マン研修」マニュアルの見直し</li> <li>■ インターシップ6名受入。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新卒者採用：40～50名</li> <li>■ 研修の充実</li> <li>■ 産学連携による人材育成</li> </ul>
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大震災・直下型地震に対応した社内システムの構築</li> <li>■ 共生社会活動の推進</li> <li>エコキャップ活動：収集目標 40万個</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東日本大震災からの経験、首都直下型等新たな震災想定、条例を反映した各種マニュアルの改訂実施</li> <li>■ 共生社会活動の推進</li> <li>エコキャップ活動：収集結果 35.4万個</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ BCM システムの有効性確認</li> <li>■ 共生社会活動の推進</li> <li>エコキャップ活動：収集目標 40万個</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後述ページ(P.35)参照</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後述ページ(P.35)参照</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後述ページ(P.35)参照</li> </ul>

凡例 ◎……達成 ○……概ね達成 △……一部未達 × 未達